高等師範学校教諭兼文部属磯野徳三郎ニ本校理化学ノ講授ヲ
仝校教諭千本福隆ニ本校数学ノ講授ヲ嘱託ス

藤田文蔵は図画取調掛雇からの横すべりであり、加納光太郎は二十年十二月一日に雇として採用されていた。

明治二十一年末現員表

左の表は「職員人名調書類」（本学蔵）所収「東京美術學校 明治廿一年十二月末日調」による。同調書には族籍および生年月日も記載されているが、それは本巻末の「教員、職員人名表」の記述と重複するので削除した。

奏任官一等上級俸	専門学務局長	浜尾新
雇 月俸銀貨五百円	兼宮内省雇	エルネスト・フェノロサ
奏任官四等中級俸	博物館学芸委員幹事	岡倉覚三
判任官四等文部属	兼書記	今泉雄作
判任官七等同	右会計主任	鳥羽聖教
判任官七等	書記	平尾貞延
雇 月俸金拾五円	会計掛	藤川恕夫

右職員

嘱託員金三百五十円	非職農商務省権少書記官文学博士	和文歴史科教授嘱託 黒川真頼
雇 月俸金三十五円	絵画教員	橋本雅邦
同	同	川端玉章
同	彫刻教員	加納光太郎
同	同	藤田文蔵
同	同	狩野友信
同 月俸金二十円	兼東京盲唖学校雇絵画教員	竹内兼五郎
同 同	彫刻教員	結城正明
同 月俸金十五円	兼高等商業学校雇絵画教員	

右教員

校丁	日給金弐拾五銭	一人
小使	同	同
同	日給金弐拾弐銭	二人

芳崖の死去

明治二十一年の夏から秋にかけて、狩野芳崖は東京美術学校設立事務所で「悲母観音」の制作にしたがっていたが、その労苦のためか、完成間近かに「肺炎衝」（芳崖履歴書）で倒れ、十一月五日、折りしも東京美術学校規則が官報に掲載された日に死去した。左記はその死亡通知である。

父芳崖事本月一日ヨリ病氣ノ處養生不相叶昨日五日午後三時死去致候ニ付此段生前辱知諸君へ御報知仕候
但シ出棺ノ儀ハ明七日午後二時谷中村百拾八番地長安寺ニ埋葬ス
十一月六日　狩野廣崖
親戚鳥山重信

（明治二十一年十一月七日『東京日日新聞』広告欄）